

## はじめに

江戸川区長  
多田正見



近年、集中豪雨や干ばつ、酷暑や大寒波などの異常気象が世界各地で頻発しています。また、日本列島を襲う台風は巨大化し、毎年全国で大きな被害をもたらしています。これらの原因の一つに、温室効果ガスの排出増加による地球温暖化問題があります。

江戸川区は、東西に江戸川、荒川などの大河が流れ、南は東京湾に面する水と緑豊かなまちです。その反面、陸域の70%が海拔ゼロメートル地帯であり、大規模水害をはじめとした地球温暖化による気候変動の影響を、真っ先に受ける地域でもあります。

そこで江戸川区では、2008年に「日本一のエコタウン」実現を目指して、本区らしさを活かした地球温暖化対策を推し進める「エコタウンえどがわ推進計画」（地域エネルギービジョン）を策定しました。そして、目指すべき温室効果ガス削減目標を掲げ、区民・事業者・区が一体となってさまざまな取り組みを進めてきた結果、策定から10年が経過し、目標の達成が見込まれる状況にあります。

しかし現在、地球温暖化は重要な局面を迎えています。2016年11月に「パリ協定」が発効し、京都議定書に代わる2020年以降の新たな国際的な枠組みが動き出しました。これを受け、国は2030年度に2013年度比で温室効果ガスを26%、2050年度までに80%削減するとして「地球温暖化対策計画」を閣議決定したところです。

これまでの長い歴史の中で、江戸川区は区民の皆さんによる「環境をよくする運動」をはじめとした「地域力」を中心にして、さまざまな環境問題に挑戦してきました。現在は、NPO法人えどがわエコセンターと連携し、「もったいない運動」や「エコカンパニーえどがわ」など、区民の誰もが身近に環境問題に取り組める基盤が整っています。本計画では、これまで区民と事業者、そして区が力を合わせて取り組んできたこうした基盤を活かし、更には再生可能エネルギー、水素エネルギーなど、時代の流れに沿った新たな技術を積極的に取り入れていくことを視野に、思い切った温室効果ガス削減目標を掲げています。

江戸川区の素晴らしい環境を次世代に引き継いでいくためにも、区民一人ひとりが限りある資源を大切に、環境に配慮したまち「日本一のエコタウン」を目指して取り組んでまいりたいと思います。区民の皆さまのご協力をお願いいたします。

2018年 3月